

第 49 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	中川ゼミⅡ	チーム名	中川ゼミ 1 班
タイトル	日本の男女雇用の格差・ワークライフバランスについての実証分析 対等な雇用状況が実現された社会を目指して		
テーマ群	e)産業・企業		
メンバー			
研究計画内容	<p>男女の雇用格差とは、男女間に存在する雇用や賃金の格差のことで、この場合、男性の方が待遇の良い状態にあることを指す。ジェンダー格差という表現も用いられる。本チームにおいてこのジェンダー格差をテーマとして選出した背景として、現代においても日本ではジェンダー格差が存在すると指摘されている状況が挙げられる。かつてと比較すると女性の労働力人口は増加しており、男性との賃金の差も縮まってきているものの、欧州各国などと比較するとまだまだ格差は大きく、日本における課題となっている。本チームでは、これらの男女雇用格差の是正のため、いかなる政策を行っていくべきかという問題を研究テーマとする。</p> <p>本チームでは研究の見通しとして、男女を均等に雇用する企業の方が利益を上げやすいと仮定する。まず現状分析として日本の男女格差や関連する制度の遷を追っていく。続いてジェンダー格差の現状について、ジェンダーギャップ指数、女性管理職比率、年齢階級別労働力率を見ることで現代の格差の分析をし、現状の政策についても確認した上で問題提起を行う。そこから先行研究を 3 点紹介することによって議論を進め、本稿の位置づけをも明らかにする。理論・分析では、日経 NEEDS FINQUEST のデータと就職四季報(女子版)に掲載されている WLB のデータを下に、企業別のクロスセクションでワークライフバランスや女性参画と企業業績の関係を実証分析する。そして、最終的に具体的に独自に考案した政策の提言を行うものとする。</p>		